

新型コロナウイルス感染症対策に係る 熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル2**とします。

1 リスクレベル判定指標

指標	前週（9月14日）	今週（9月21日）
最大確保病床使用率	32.1%	25.9%
最大確保重症病床使用率	10.3%	10.3%

前回（9月16日発表）	今回（9月22日発表）
レベル2	レベル2

2 感染概況と注意が必要な地域

	前週（9月14日）	今週（9月21日）
新規感染者数	9,520人	6,632人
感染の傾向	減少傾向にある	減少傾向にある

本県の新規感染者数は、全域的に減少傾向にある。連休や台風の影響もあるため、直近では増減が激しいが、総じて安定した減少過程にあると考えられる。

注意が必要な地域 (保健所管轄地域)	なし
-----------------------	----

3 県民の皆様へのお願い

全国的な感染者の減少が継続しています。今後、国は、Withコロナに向けた新たな段階への移行を進めていくこととしており、重症化リスクの高い高齢者等に保健医療を重点化していく方針です。9月26日から、本県においても全数届出を見直しますが、届出対象ではない方は、万一症状が悪化した場合のスムーズな対応のため、陽性者登録を行っていただくようお願いいたします。

また、引き続き、医療に過度の負荷をかけないように、平日の昼間の診療時間内に受診をする適正受診や、医薬品・食料品の日頃からの準備に御協力をお願いします。また、夜間等に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合、#7400(夜間)や#8000(子ども)への御相談をお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：錦戸、横山、中満、吉岡
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933

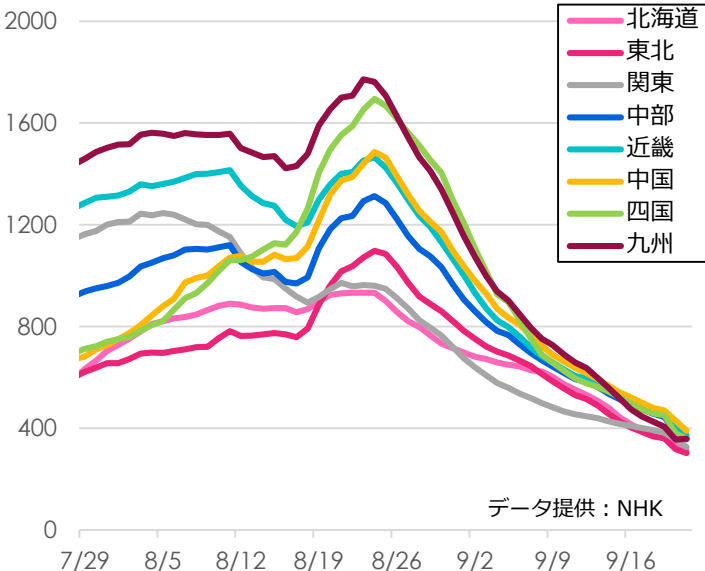
熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況

【令和4年（2022年）9月22日】

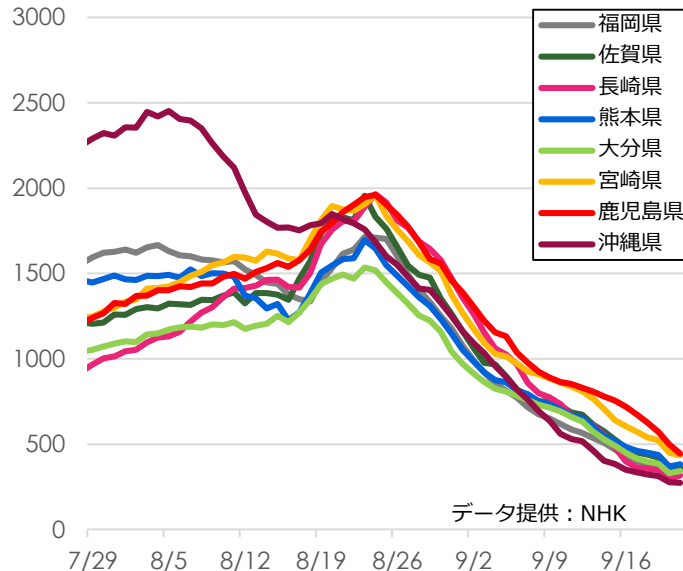
1 熊本県における現状認識

(1) 新規感染者数の状況

全国の感染者数推移
(地方ごと・人口あたり週感染者数)

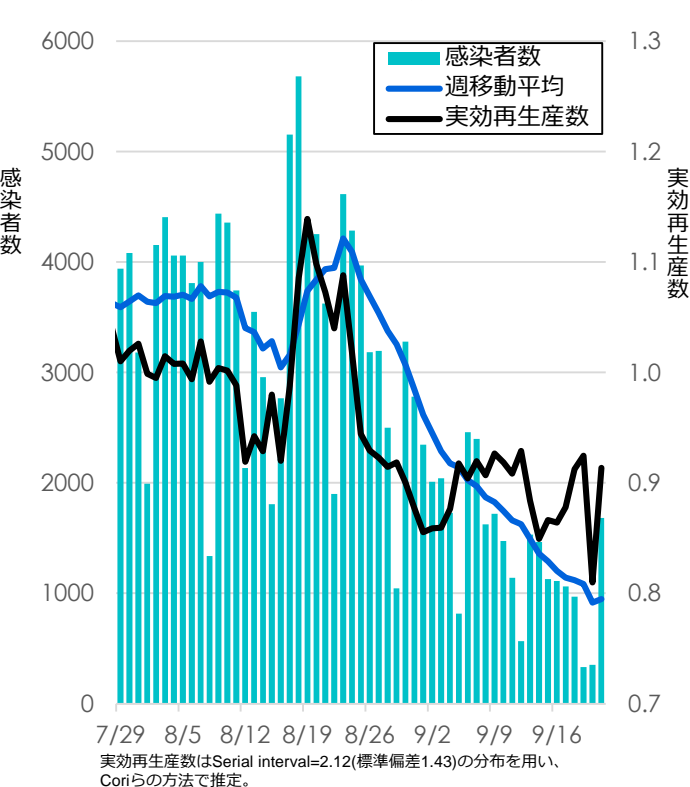


九州地方の感染者数推移
(人口あたり週感染者数)

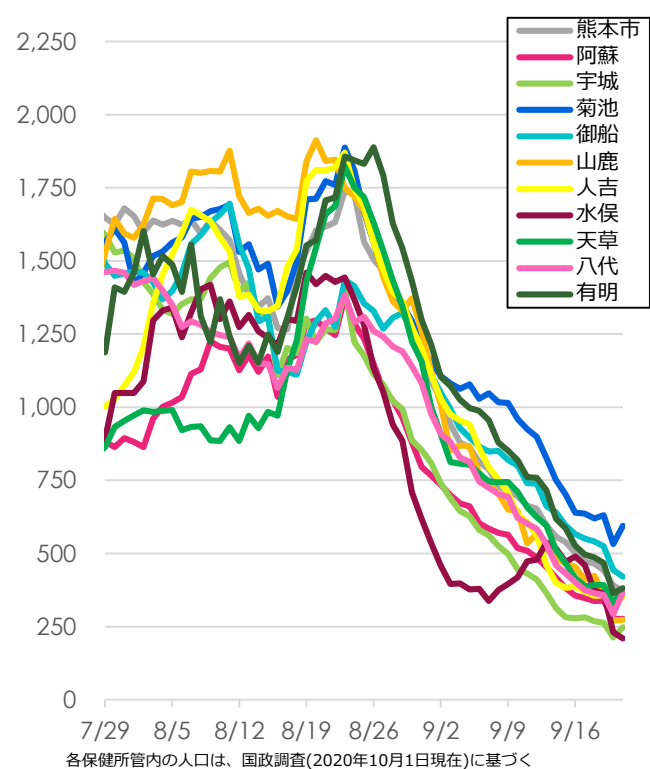


感染者数は、全国的な減少傾向が継続しており、地域差は縮小している。

本県の感染数推移と実効再生産数



保健所ごとの人口10万人当たり週感染者数推移

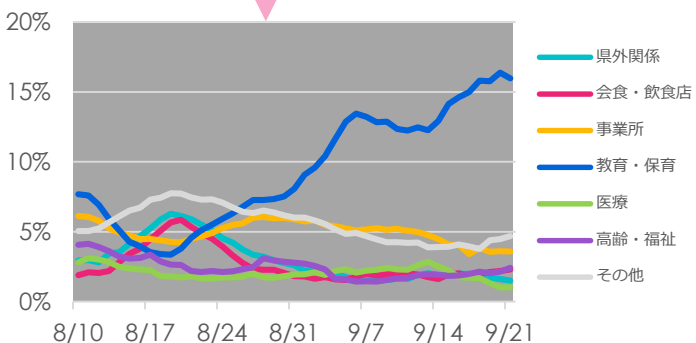
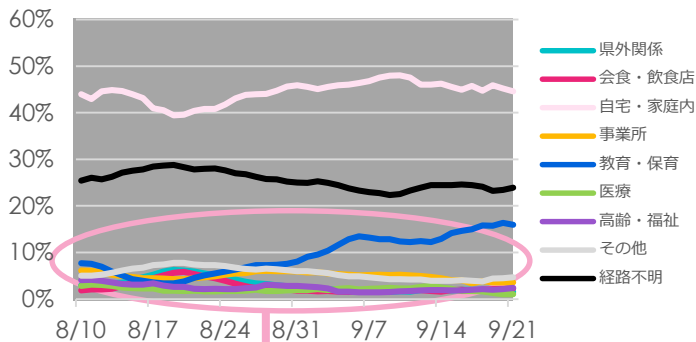


本県の9月15日から21日までの新規感染者数は6,632人(前週は9,520人)であり、全地域で減少が見られている。連休や台風の影響により直近では増減があるが、実効再生産数は0.9前後の状況が継続しており、安定した減少過程にあると考えられる。

(2) 感染の様態

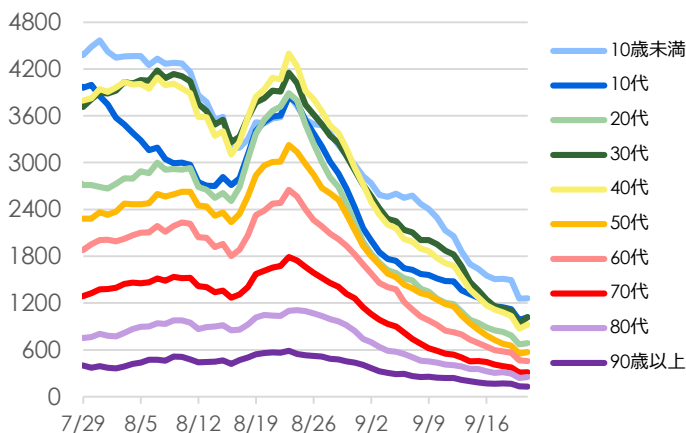
【参考】感染者の感染経路割合推移※

陽性者へのSMS聞き取りから集計(7日間移動平均)。
回答のあった2,245件からの推定(全体の33.8%)

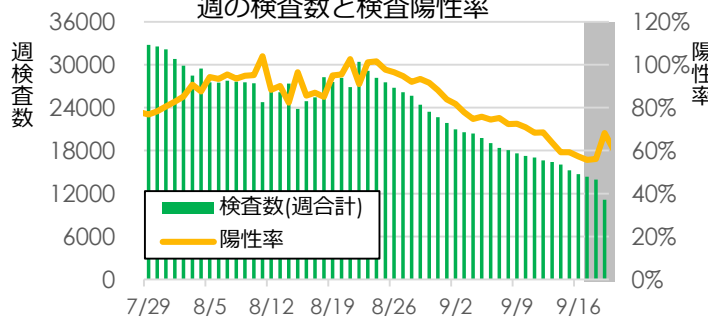


グレー背景は参考値(SMSの使用に慣れていない高齢者では回答率が下がると思われる(高齢者施設・医療機関が過小評価))。

年齢階級別分布(週合計)



週の検査数と検査陽性率



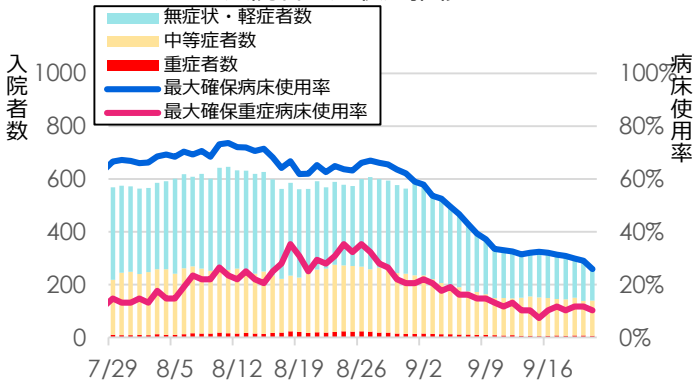
検査数は、医療機関からの報告に基づく。報告の遅れ、未報告、みなし陽性の影響で、陽性率は100%を超えることがある。

グレー背景は参考値(報告の遅れがある)

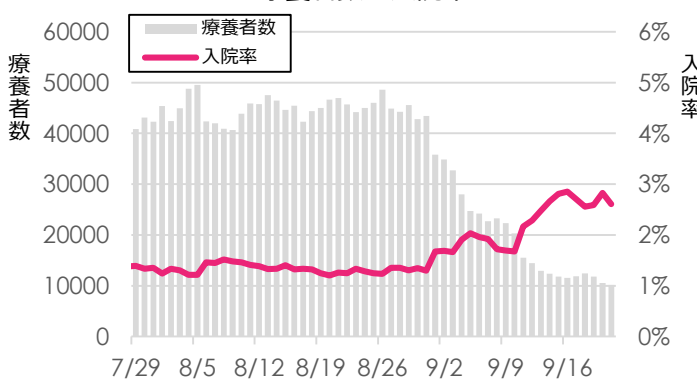
感染者は全ての年代で減少している。検査数の減少と陽性率の低下も継続しており、感染は減少傾向にある。また、参考情報ではあるが、感染経路について、教育・保育施設の割合が8月終盤から漸増している。全体としては感染者が減少しているため、限定的ではあるが、夏休み終了の影響と考えられる。

(3) 病床等の状況

入院者の症状別推移



療養者数と入院率

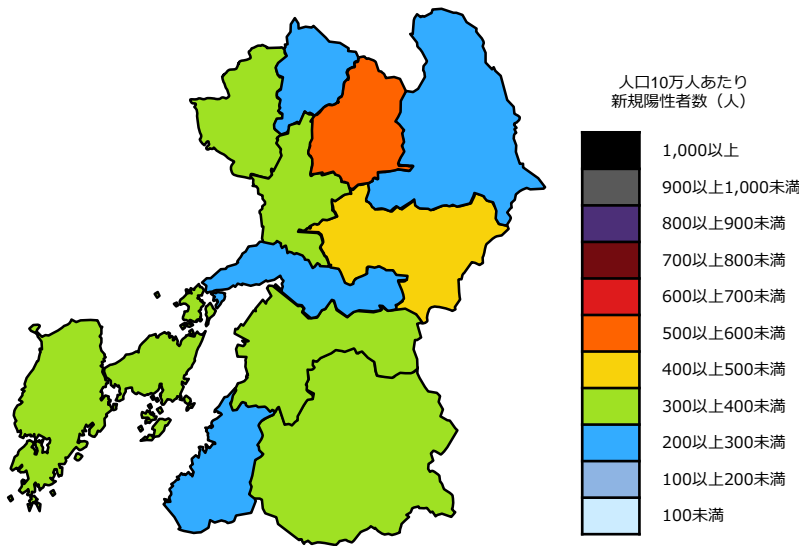


9月21日時点の病床使用率は25.9%、重症病床使用率は10.3%。病床使用率は先週と比較して6.2%減少している。療養者も10,000人前後まで減少しており、医療提供体制の負荷軽減が進んでいる。

(4) リスクレベル判定

	9月21日	レベル0 感染ゼロ	レベル1 維持すべきレベル	レベル2 警戒強化レベル	レベル3 対策強化レベル	レベル4 避けたいレベル
病床使用率	25.9%	県内で継続的な感染 が起こっていない	—	20%	50%	最大確保病床数を 超えた数の入院が必要
重症病床使用率	10.3%		—	—	50%	

(5) 注意が必要な地域の概況



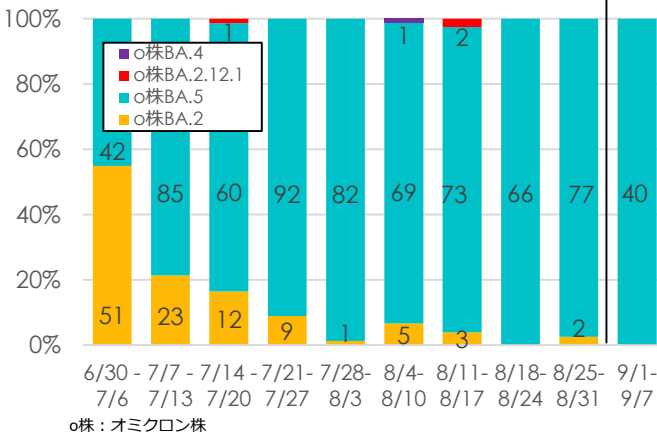
保健所名	9/15~9/21	
	新規陽性者数	人口10万人※ ¹ あたり
熊本市保健所	2,763	374.0
有明保健所	586	380.9
山鹿保健所	134	273.3
菊池保健所	1,110	594.5
阿蘇保健所	162	276.0
御船保健所	345	420.8
宇城保健所	254	247.7
八代保健所	493	367.5
水保保健所	91	209.2
人吉保健所	288	353.5
天草保健所	406	377.8

※1 各保健所管内の人口は、国政調査(2020年10月1日現在)に基づく

全ての地域で感染者数は減少しており、菊池保健所管内も人口10万人当たりの感染者数が700を下回ったため、注意が必要な地域から除外する。

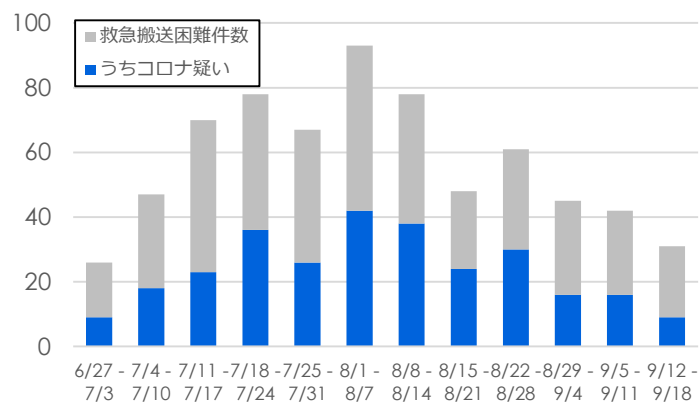
【参考】ゲノム解析の結果概要

※結果判明までのタイムラグがあるため、日付が近い値は変動する。



【参考】救急搬送困難件数

※熊本市消防局から総務省への報告数。



【参考】医療提供体制、感染状況に関する参考指標

時点	医療負荷の参考指標					感染状況の参考指標					
	療養者数	入院率 ※1	重症者数	中等症者数	救急搬送困難件数 (うちコロナ疑い事案)※2	必要病床数予測※3			検査陽性率 ※4	感染経路 不明割合	新規感染者数 今週/前週比
						1週間後	2週間後	3週間後			
9月21日	10,427人	2.5%	7人	118人	31 (9)	463	534	459	73.7%	24.3% ^{※5}	0.7
9月14日	12,356人	2.7%	7人	148人	42 (16)	637	778	674	57.3%	24.8%	0.7
9月7日	22,728人	1.9%	11人	164人	45 (16)	846	1,118	995	69.9%	23.1%	0.7
8月31日	43,448人	1.3%	14人	227人	61 (30)	1,266	1,754	1,601	79.1%	25.4%	0.7
8月24日	44,991人	1.3%	24人	249人	48 (24)	1,820	3,787	5,545	91.8%	27.8%	1.3
8月17日	42,292人	1.3%	19人	203人	78 (38)	1,328	2,117	2,230	76.0%	28.1%	0.9
8月10日	43,875人	1.5%	18人	240人	93 (42)	1,592	2,806	3,362	79.9%	34.3%	1.0
8月3日	44,960人	1.3%	12人	247人	67 (26)	1,525	2,636	3,133	76.5%	35.3%	1.0

グレー背景は参考値。

※1 療養者数が人口10万人あたり10人以上(174人)の場合に適用。

※2 その時点で消防庁にて公表されている直近1週間の熊本市消防局の値。

※3 新型コロナウイルスの感染拡大状況とワクチン接種状況に応じた医療需要の予測ツール(国立感染症研究所)の短期予測を用い、本県のデータを用い算出。(感染が急激に増加する場合は、パラメータを調整する場合があります)

※4 新規感染者数(公表日ベース)及び県内の全検査数の1週間合計より算出。検査数の増加により、報告の遅れがあることに注意。

※5 調査が完了した2,245名の調査結果から算出したもの。調査が完了していない事例(リンクが判定されていない)4,387名分は分母に含まれないため、参考値とする。(保健所業務がひっ迫しており、感染経路についての疫学情報が十分に得られない状況)

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (9月21日現在)

- 熊本県の新規感染者数は、全国と同様に減少が継続している。減少時の実効再生産数は概ね0.9程度であり、これは他国の減少時の数値と類似していることから、当面の間は同様の減少が継続すると考えられる。
- ただし、今後、人流の増加や、感染やワクチン接種により得られた免疫の減衰により、感染が増加することは避けられない。他国においては、BA.2.75やBA.4.6の増加が見られているとの報告もあり、油断はできず、例年の状況からも、特に年末年始に向けて注意が必要である。
- 第7波は、強い行動制限をせずに乗り越えたものの、医療への負荷はかなり高まり、一般医療への影響もあった。これらを防ぐために重要なことが、①重症化リスクの高い方への更なる医療の重点化、②ワクチン接種の推進である。
- ①について、現在、国内のオミクロン株流行時の重症化率や致死率はいくつか報告されている。第98回アドバイザリーボード資料によると、例えば40代では重症化率は0.03%、70代では1.54%と年齢依存的に高まっており、その差は非常に大きい。リスクの高い方へ保健医療資源を集中させることは、今後の感染拡大で医療のひっ迫を起こさないために必要である。
- まずは全国的に、全数届出の見直しを行うこととされているため、スムーズな移行ができるよう医療機関等への制度周知を進めていただきたい。また、発生届の対象外の方が、症状悪化した場合にスムーズに対応できるよう、登録制度の周知や勧奨も重要である。さらに、26日以降は、自らの検査で陽性登録できるようになるが、体外診断用医薬品として承認された検査キットを正しい方法で用いる必要があるため留意いただきたい。
- ②については、オミクロン株対応ワクチンを多くの方が接種することが重要である。今回のワクチン接種の目的については、国も重症化防止のみならず、感染防止・発症防止と明言している。感染拡大防止という目的達成のためには、ウイルスの拡散スピードよりも速くワクチンを接種する必要がある。年末までに対象者の方々が概ね接種を完了できるような状況が望ましく、特に若い方の接種がカギとなると考えられる。県・熊本市においては、接種メリットや正しい知識の周知をこれまで以上に進めていただきたい。
- また、今年は南半球の状況を見ると、インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行も起こりうる。同時流行の場合、医療機関への負荷が更に高まることが予想され、一般医療の制限につながりかねない。県民の皆様には、両方のワクチンの接種を検討していただくようお願いする。
- 第7波を乗り越え、新型コロナウイルス感染症への対応は新たな段階に入りつつある。以前コメントしたが、不況や、不況時の経済緊縮は公衆衛生の悪化も招くことから、医療と経済は2者択一では語れない。今後、経済を止めず、医療ひっ迫も起こさず感染拡大を乗り越えていくことが目標となる。

3 県民の皆様へのお願い（9月22日発表）

熊本県リスクレベルは、**レベル2**です。また、感染状況は減少傾向にあります。

1 基本的な感染防止対策の徹底

- ① 症状がなくとも、マスク（不織布マスクを推奨。以下同じ）着用
- ② こまめな換気、手洗い・手指消毒
- ③ 発熱時は仕事等を休み、かかりつけ医等に電話相談！

- ・「新しい生活様式」の実践をお願いします。
- ・マスク着用を推奨する場面※は次のとおりです。
 - 屋内において、他者と距離（2m以上を目安）がとれない場合
 - 屋内において、他者と距離がとれるが会話を行う場合
 - 屋外において、他者と距離がとれず会話を行う場合
 - 重症化リスクの高い者と接する場合
- ・換気、手洗い、人と人との距離の確保等を徹底してください。
- ・帰宅直後の手洗いや入浴、発熱等の症状がある同居者と部屋を分けるなど、家庭内における感染防止対策を徹底してください。
- ・厚生労働省がリリースした接触確認アプリの積極的な利用をお願いします。



©2010 熊本県 くまモン

※…特に夏場については、マスク着用が必要ない屋外の場面では、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨。
また、就学前の子どもは、2歳未満では着用が推奨されないほか、2歳以上であっても周りの大人が子供の体調に注意したうえでの着用が必要。

2 検査受検

発熱などの症状がある方

外出せず、かかりつけ医等の医療機関又は発熱者専用ダイヤルに電話相談し、受診してください。

発熱等がある場合



症状はないが、感染に不安を感じる方

県の登録を受けた検査機関等において無料検査が受けられる（熊本県民に限る）ため、検査を受けてください。なお、無料検査は当面の間継続することとしています。

無料検査について



3 移動・外出

【移動】

- ・都道府県をまたぐ移動は、「3つの密」の回避を含め基本的な感染防止策を徹底してください。
- ・旅行は感染対策を徹底し、わずかでも体調に異変があれば控えてください。

【外出】

- ・マスク着用等の感染防止対策を徹底してください。
- ・感染リスクの高い「3つの密」のある場所への外出は自粛してください。

4 会食時は特に注意しましょう

- 会食は、宅飲みを含み、感染リスクを最小化するために、下記に留意して実施してください。

- 「会食時の感染リスクを下げる4つのステップ」を遵守して
- なるべく普段から一緒にいる人と
- 人数を絞って



熊本県作成 会食時の感染リスクを下げる4つのステップ 熊本市21区目 電話096-371-2352

飲酒を伴う懇親会や大人数での飲食、長時間におよぶ飲食等は、新型コロナウイルス感染症の感染リスクが高まる場面に該当しますが、様々な工夫と一人一人の心がけて、感染リスクを下げることは可能です。
感染リスクを下げる4つのステップをみんなで実践しましょう！

STEP1 予約時に下げる！

- お店を予約する際に、感染防止対策を実施しているお店が確認しましょう。
→ 感染防止対策を実施しているお店は、スタッフへの掲示等で確認できます。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内とするようお店と相談しましょう。
- ※ 認証店は除きますが、下記のような工夫で感染リスクを下げましょう。

認証店での会食の例

- 席の配置を前後めがけにする
- アクリル板を設置する
- テーブルを併せる

左記以外の会食

STEP2 食事前の下げる！

- 発熱等の症状の有無を確認し、体調の悪い人は参加しないようにしましょう。
- 入店時に手指消毒を行い、マスクを着用したまま、すぐに鑑賞しましょう。

STEP3 食食中下げる！

- 食事中でも、会話をするとマスクを着用しましょう。
→ 食事の時間と会話の時間を分けるなどの工夫が効果的です。
- 大声での会話や席の移動は控えます。
- 箸やコップの使いまわしはやめましょう。
- 酒は控えましょう。アルコールを飲みすぎの人がいたら、ソフトドリンクを勧めましょう。
- 飲酒の席で参加者の気分が高揚し、マスク無しで会話や大声での会話が行われるなど、感染防止対策が実施されない状況になったら、早めにお開きしましょう。

STEP4 食食後下げる！

- 長時間かつ深夜のはしご酒は控えましょう。
- 帰宅前後の手洗いなどにより、車内にウイルスを持ち込まないようにしましょう。
- 万が一、発熱等の症状が出た場合は、速にかかりつけ医等に電話相談のうえ、医療機関を受診しましょう。また、幹事等に連絡し、参加者と情報共有しましょう。

- 県内全域で、深夜遅くまでの飲酒や会合など、感染拡大につながる行動を控えてください。
- 感染防止対策が講じられていない飲食店は、利用しないようお願いします。
- 飲食店を利用する場合、同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。 ※…認証店における会食を除く。
- 宴会等はなるべく普段から一緒にいる人と行うとともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。

(注)認証店：「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」の認証を受けた店舗

5 飲食店事業者の皆様への要請

【感染対策】

- 県が示した業種別の「感染防止対策チェックリスト」、国が取りまとめている感染拡大予防ガイドラインにより、十分感染防止活動を行い、それが県民に分かるよう、ステッカー等を掲示してください。
- 同一グループの同一テーブル使用は4人以内としてください※。

【認証制度】

- 感染防止対策徹底のため「熊本県飲食店感染防止対策認証制度」をご活用ください

チェックリスト



認証制度



※…認証店における会食を除く。

6 イベント開催

- 県の「イベントの開催制限について」を参考とし、感染防止対策を徹底してください。
- 参加人数は、下記の【人数上限】、【収容率上限】の**いずれか小さい方**に制限してください。
- 感染防止安全計画を策定するイベントについては、イベント開催日の2週間前までを目途に県に感染防止安全計画を提出してください（大声なしの担保が必要）。
- 感染防止安全計画を策定しないイベントでは、感染防止策チェックリストを作成し、主催者等のHP、SNSなどで公表し、イベント後1年間保存してください。

	感染防止安全計画の策定あり	その他 (感染防止安全計画を策定しない)
人数上限	収容定員まで	5,000人又は収容定員50%のいずれか大きい方
収容率上限	100%	大声なし：100%、大声あり：50%

イベントの開催制限について



【大声】：通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること。【大声あり】：「大声」を積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントが該当【大声あり】「大声なし」のエリアが明確に区分される場合：同一イベント等において、「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催する場合の収容率の上限は、それぞれ、50%（大声あり）・100%（大声なし）とします。

詳細は熊本県HP「イベントの開催制限について」を御確認ください。

7 医療機関の適正受診など

【適正受診】

コロナに関わらず、**緊急を要さない**と思われる場合は、平日の昼間の診療時間内に受診をするなどの御協力をお願いします。

【薬品・食料品の準備】

重症化リスクの低い方や軽症の方は、緊急受診しなくても良いよう準備を。

【夜間に救急外来の受診や救急車を呼ぶか迷う場合】

下記への電話相談をお願いします。

子ども医療電話相談事業	# 8 0 0 0	平日 : 午後7時から翌朝8時まで 土曜日 : 午後3時から翌朝8時まで 日・祝日 : 午前8時から翌朝8時まで
夜間安心医療電話相談事業	# 7 4 0 0	毎日 : 午後7時から翌朝8時まで

8 その他

事業者

- ・業種別ガイドラインの遵守
- ・テレワークの推進等により出勤者削減(可能な範囲で目標を設定)への取り組み
- ・職場における感染防止のための取り組み(手洗いや手指消毒、換気励行、テレビ会議の活用、昼休みの時差取得等)の徹底
- ・三つの密を発生させない取り組みへの協力
- ・従業員に対し、療養・待機期間解除後の念のための検査を促すことは控えて

保育所等

- ・保育所等における感染防止のための取り組み(職員のマスク着用、手洗いや手指消毒、換気励行等)の徹底
- ・感染状況等に応じて臨時休園等の判断を速やかに行うよう市町村へ依頼
- ・保育所で希望する場合は保育士等に対する集中的検査の実施
- ・市町村の代替保育の実施を支援

学校

- ・文部科学省の「衛生管理マニュアル」に基づく感染防止対策の徹底
- ・感染防止対策の徹底を依頼
- ・部活動において感染防止対策を徹底した上での活動を依頼
- ・小学校で希望する場合は教職員に対する集中的検査の実施

高齢者施設等

- ・従事者にわずかでも症状がある場合、確実に仕事を休ませる体制の構築
- ・オンライン研修等による、感染防止対策の実施
- ・高齢者・障がい者等の施設の従事者に対する集中的検査の実施

その他

- ・保育所の保育士、小学校の教職員、高齢者施設等の従事者等が濃厚接触者になった場合に、早く職場に復帰できるよう検査の実施を支援

県民の皆様へのメッセージ

残念ながら、感染者やその御家族、医療従事者の方々の中に、差別を受け、苦しんでいる方がおられます。新型コロナウイルス感染症には、誰もがいつでも感染する可能性があります。感染された方やその御家族、職場関係の方々に責任はありません。不当な扱いや嫌がらせ、誹謗・中傷などは絶対にないよう、お願いします。

また、県では、基本的な感染防止対策として、マスクの着用をお願いしているところですが、障がいや病気などの様々な事情でマスク着用が困難な方がいらっしゃいます。県民の皆様におかれては、このような様々な事情により、マスクをつけられない方がいらっしゃることをご理解いただきますようお願いいたします。

熊本市の状況と対策

熊本市においては、新規感染者数は継続して減少傾向にありますが、病床使用率は50%前後を横ばいで推移しております。

連休に伴い、人との接触機会が増加することで、感染の再拡大につながる可能性があることから、高齢者など重症化リスクが高い方を守るためにも、引き続き感染防止対策の徹底や、医療機関の適正な受診など、一人一人のご協力が必要です。

【対策】

- ✓ ワクチン接種の着実な実施
- ✓ 保育所等・小学校・高齢者施設等の従事者に対する集中的検査 及び 同従事者が濃厚接触者になった場合の待機を早期に解除するための検査の支援
- ✓ 保育所等や学習活動、部活動、児童育成クラブ等における感染防止対策の徹底
- ✓ 熊本シティFM・街中モニターを活用した感染予防策に関する広報啓発活動の実施
- ✓ さらに病床確保に努めるとともに、感染者が発生した高齢者施設等の要請に応じ、医療支援チームを派遣し、感染状況の把握と迅速な感染管理、医療介入を実施

【熊本市からの要請】

- ✓ **基本的な感染防止対策を徹底**してください。(手洗い・うがい・手指消毒・換気・マスク着用(※))
※…マスク着用が推奨される場面の詳細については、資料5ページをご参照ください。
- ✓ 高齢者や基礎疾患のある方及びその同居家族の感染防止対策を徹底してください。
- ✓ 症状は無いが、感染に不安を感じる方(熊本県民に限る)については、熊本県が実施している**無料PCR等検査を受検**していただくようお願いいたします。
- ✓ 会食時は県が示している「**会食時の感染リスクを下げる4つのステップ**」を遵守して、**なるべく普段から一緒にいる人と人数を絞って行う**とともに、普段一緒にいない人との会食は特に注意してください。
- ✓ 「**熊本県飲食店感染防止対策認証制度**」を活用してください。
- ✓ 夜間に発熱等の症状が出た際、緊急を要さない場合は、出来る限り平日の昼間の診療時間内で受診いただくなど、**医療機関の適正な受診**にご協力をお願いいたします。
- ✓ ご自身やご家族が感染した場合に備え、**常備薬、日用品や食料品などを事前に備えていただく**ようお願いいたします。
- ✓ 救急医療を守るため、**軽症の場合や検査目的での救急病院の受診はお控え**ください。
- ✓ 職場において、業種別ガイドライン等を参考に、**感染防止対策の徹底**を再度確認してください。
また、**テレワークや時差出勤等**に協力してください。
- ✓ 希望される方は**積極的なワクチン接種**をお願いいたします。

本ページの内容の問い合わせ先

熊本市 新型コロナウイルス感染症対策課
問合せ先：岡島・田上・田口・富永
電話：096-364-3311